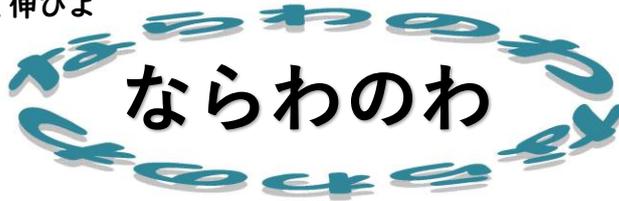


清く 正しく 大きく伸びよ



発行 成岩小学校
令和4年度10月号

秋といえば「読書の秋」ということで、先日の朝会では、読書について次のように子どもたちに話をしました。

読書とは、いろいろな世界を知ることができたり、知識を得ることができたりします。また、新しい考え方や物事に対する感じ方を知ることができる素晴らしいものです。何より、読書によって、この後どうなるんだろうとドキドキしたり、「やったあ。」と感動したりする楽しさは、他に代えがたいものがあります。

「話すこと」は、大昔からだれでもできることが一般的でした。しかし、「書くこと」と「読むこと」は、少し昔までは、一部の人しかできなかったことです。江戸時代に外国の人が寺子屋教育による日本人の識字率の高さに驚いたという話を聞いたことがあります。ですから、皆さんが普通にできている「読むこと」の大切さに気づいてほしいと思います。また、文字や言葉には、不思議な力があります。読書のように人を向上させたり楽しませたりする力や、優しくかける励ましの言葉で人を勇気づける力があります。大切に丁寧に使っていきたいものです。

歯科巡回指導（9/8）

歯科医や歯科衛生士の方々に来ていただき、全学級で歯科巡回指導を受けました。歯の磨き方や食事などで気を付けることなど、学年に合わせた内容を学習しました。



ボランティア除草作業（9/25）

保護者・教員等45名が参加し、ボランティア除草作業を行いました。草を取り、枝を切り、きれいな運動場になりました。これで、気持ちよく運動会の練習に臨めます。ありがとうございました。

